フォーサイド グループ
2019年12月期第1四半期
決算説明資料

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

2019年12月期第1四半期　連結業績ハイライト

（単位：百万円）

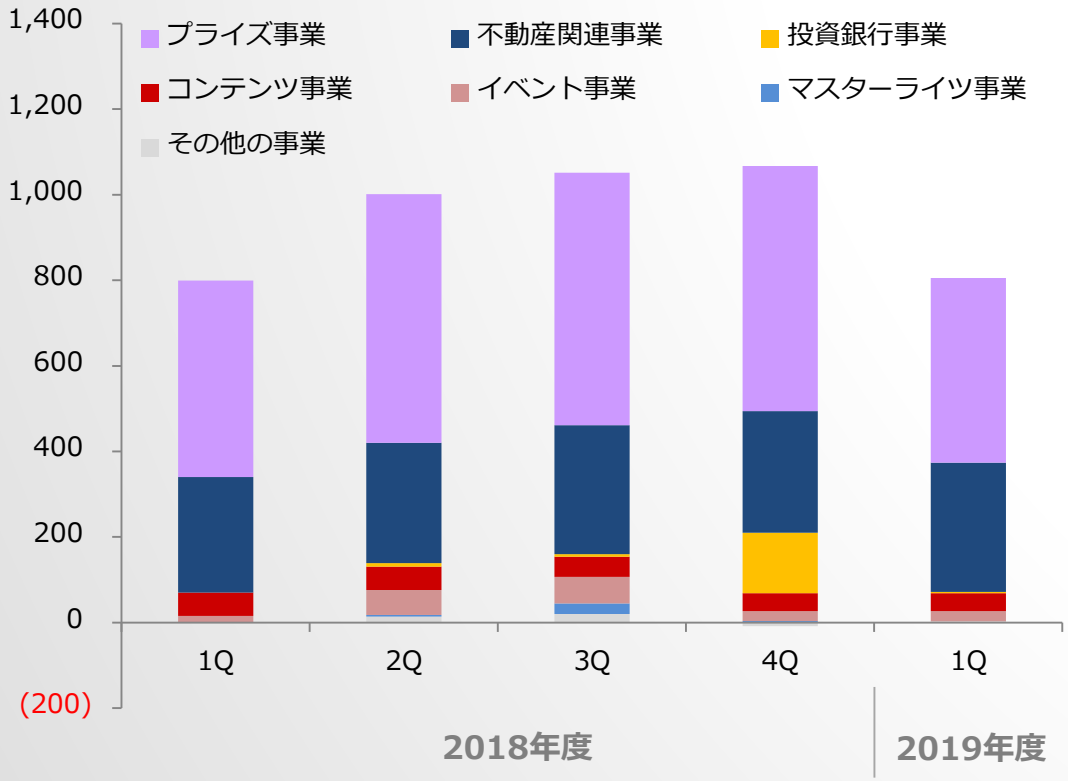
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	800	808	100.9%	2019年12月期第1四半期においては、プライズ事業、不動産関連事業を中心に販路の拡大や新規顧客の獲得に注力することで、営業収益は堅調に推移し連結業績に寄与した。その結果、グループ全体の営業収益は前年比100.9%、営業総利益は103.7%の増益となった。 一方、営業拡大に伴う人件費の増加や収納代行未収金の増加に伴う引当金の増加、繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額の計上等により、2019年度第1四半期において、利益確保には至らなかった。 なお、法人税の算出が連結上となったことで、個別上での支払がなくなり、グループ全体での営業キャッシュ・フローの改善が期待されます。
営業総利益	344	357	103.7%	
販売管理費	406	425	104.6%	
営業利益	△62	△67	—	
経常利益	△54	△58	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	△73	△169	—	

営業収益は堅調に推移し、前年比増益となるも、原価及び販売管理費を補うまでには至らず。
一方、連結納税の適用は、法人税の負担減少が見込まれ、営業キャッシュ・フローの改善に寄与。

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

営業収益の成長推移

（単位：百万円）



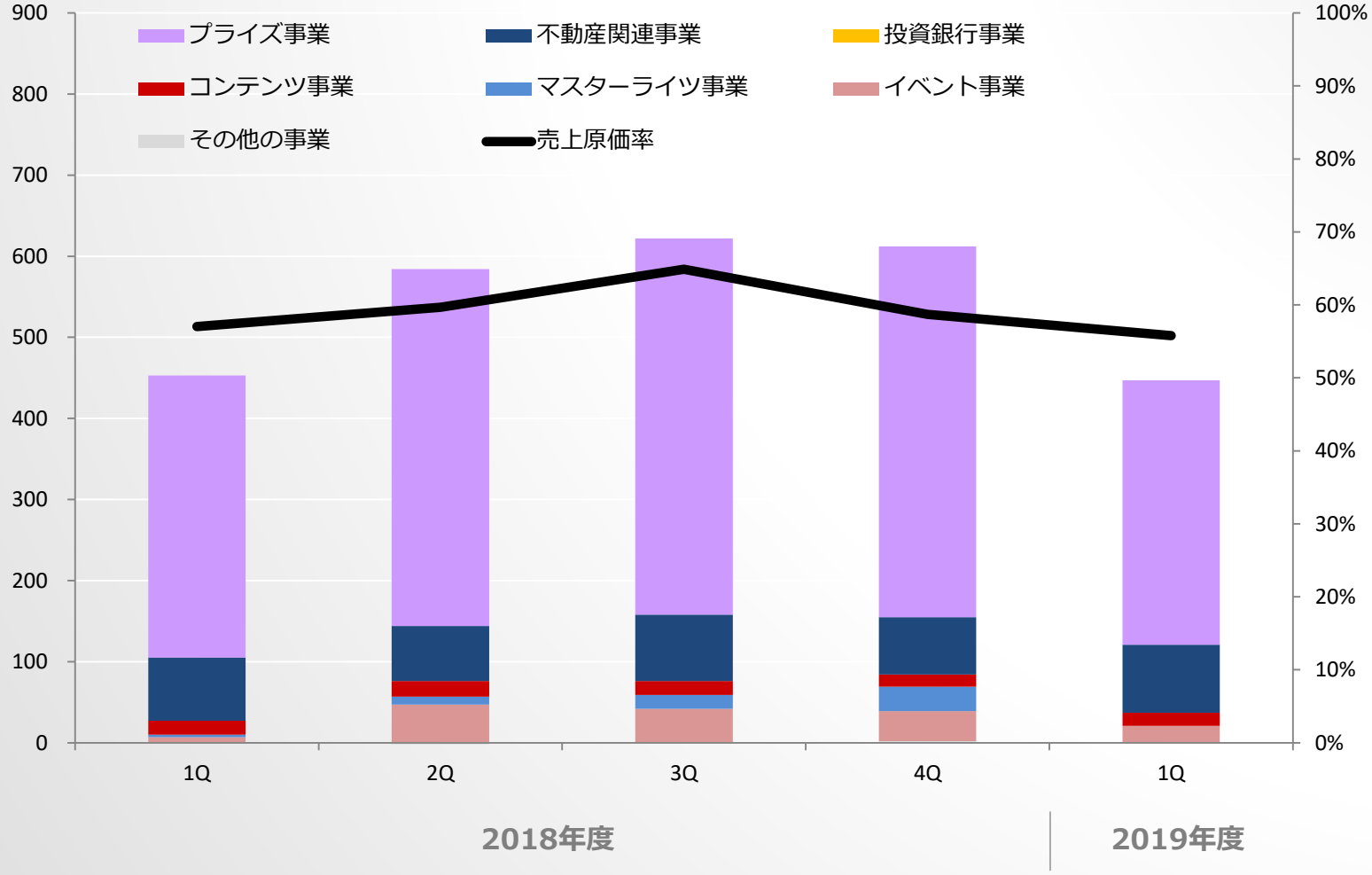
プライズ事業・不動産関連事業の
営業収益が連結業績に大きく寄与

	主な増減要因
プライズ事業	※㈱ブレイクにおけるプライズ事業では、主軸であるキャラクターグッズの商品化と並行して、雑貨系商材の製造・販売を強化することで、新たな受注の増加につながり、売上高は前年同期と比べ微減しているものの堅調に推移し、セグメント利益を確保した。
不動産関連事業	※主に日本賃貸住宅保証機構㈱における不動産関連事業では、首都圏、近畿圏を中心に営業拡大を継続しており、新規獲得件数及び保証債務残高は堅調に推移する一方、営業拡大に伴う収納代行未収金の増加に伴う引当金の増加、のれんの償却等が影響し、セグメント利益の確保には至らなかった。
投資銀行事業	※フォーサイドフィナンシャルサービス㈱における投資銀行事業では、多くの案件を手元に留保し、案件の成約に取り組むが、複数の案件において契約の締結が第２四半期以降にずれこむこととなり、セグメント利益の確保には至らなかった。
コンテンツ事業	※㈱モビぶっくにおけるコンテンツ事業では、プロモーション費用を抑える一方で、広告効果の最大化を図り、新規顧客の獲得を行い、魅力あるコンテンツの拡充を継続的に行った結果、セグメント利益を確保した。
イベント事業	※㈱ブレイクにおけるイベント事業では、多くの催事・イベントにおいて商品を展開・販売することができ、売上は好調に推移したものの、主催イベントの減少により、利益率を押し下げた結果、セグメント利益の確保には至らなかった。
マスターライツ事業	※フォーサイドメディア㈱におけるマスターライツ事業では、宝祭堂の事業撤退を進め、音楽事業では、アーティストのライブ活動・グッズ販売を積極的に行うも、セグメント利益確保には至らなかった。
その他の事業	※その他の事業では、マイニング機器の稼働を全て停止しているため、保有する仮想通貨の期末評価による営業収益を計上したものの、その他の事業全体の販売管理費等を補うまでには至らなかった。

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

原価の推移

（単位：百万円）

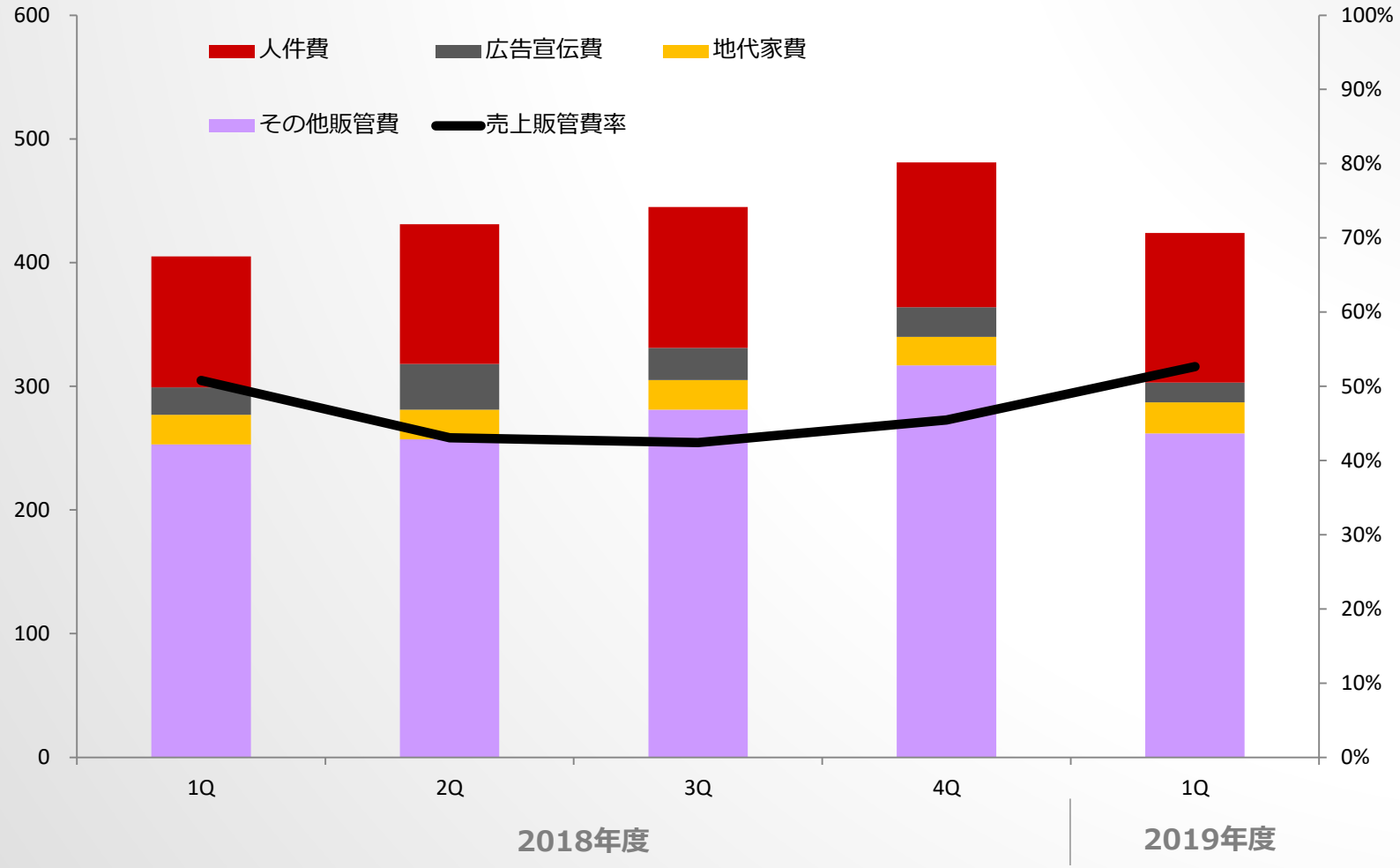


売上の増加に伴い原価は増加
各事業において原価管理を強化し、継続的なコストコントロールを実施

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

販売管理費の推移

（単位：百万円）



営業拡大に伴う人件費の増加や収納代行未収金の増加に伴う
引当金の増加に伴い販売管理費が増加

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2018年度 12月期	2019年度 第1四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資　産	3,992	3,101	△891	資産については短期貸付金の減少552百万円及び繰延税金資産の取り崩しによる減少245百万円等により、前年度末に比べ891百万円の減少となった。
負　債	2,094	2,044	△50	負債については支払手形及び買掛金、未払金、未払法人税の減少119百万円及び前受収益の増加57百万円等により、前年度末に比べ50百万円の減少となった。
純資産	1,898	1,056	△841	純資産については日本賃貸住宅保証機構株式会社の株式追加取得による資本剰余金の減少553百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失169百万円を計上したこと等により、前年度末に比べ841百万円の増加となった。

（注）2019年5月14日現在、発行済株式総数は31,397,704株、資本金は1,264百万円、資本準備金は1,161百万円です。

子会社株式の追加取得及び四半期純損失の計上により純資産が減少

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

参考資料

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

フォーサイドグループ概要

会 社 名	**株式会社フォーサイド**　（持株会社）
所 在 地	〒103-0022　東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場　証券コード2330）
資 本 金	1,264,914,136円（発行済株式総数31,397,704株）
経 営 陣	代表取締役　根津　孝規　　取締役会長　泉　信　彦　　常務取締役　飯田　潔 取　締　役　　假屋　勝　　取　締　役　吉田　生喜　　社外取締役　濱田卓二郎 常勤監査役　法木　右近　　監　査　役　田辺　一男　　監　査　役　瀬山　剛
顧　　問	法律顧問　TMI総合法律事務所
事　　業	・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等 ・投資銀行業務
子 会 社	・㈱モビぶっく：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業 ・フォーサイドメディア㈱：グッズ企画及び製造販売、音楽関連事業 ・フォーサイドフィナンシャルサービス㈱：フィンテック事業/金融事業/投資銀行業務 ・フォーサイドリアルエステート㈱：不動産投資事業/不動産販売事業/管理事業 ・㈱ブレイク：プライズ商品企画販売事業/イベント企画運営事業 ・日本賃貸住宅保証機構㈱：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業

©2019 FORSIDE CO.,LTD.

高成長を続けるモバイル市場へ、魅力有るコンテンツを供給することで、世界中のユーザーに「いつでも新しい楽しみ」を提供し、
新たな“モバイルエンターテイメント”の創造に貢献することを通じて、広く人々に支持される高収益企業となる。

デジタルコンテンツ
株式会社モビぶっく

モビぶっく
総合ジャンル
電子書籍サービス

●出版社数／約1,500社
●タイトル数／約190万
●有料会員数／約5万人

有料会員 約５万人

Verygood
恋活・婚活
ブログメディア

●ユーザー／女性メイン
●年齢層／25~39歳
●MAU／約65万人

月間PV 約700万

auスマートパス
スマートフォンアプリ
各種プラットフォーム配信

●アプリ数／5アプリ
●DL数／累計178万
●メイン／ツール系

累計DL 170万以上

金融事業
フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社

投資銀行事業

決済代行サービス

VISA MasterCard JCB Diners Club AMERICAN EXPRESS

支付宝 ALIPAY　微信支付

情報セキュリティ

[子会社]日本信用情報サービス株式会社

日本信用情報サービス
Japan Credit Information Service ,Ltd.

人工知能を用いた仮想通貨の取引解析
システムを金融・捜査機関等に提供。

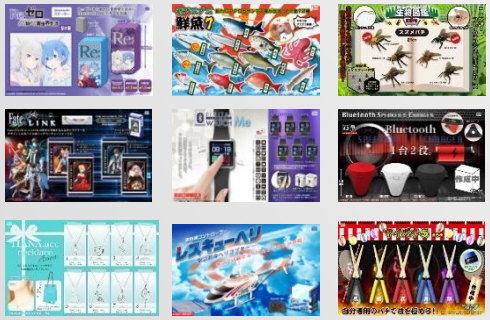
BLOCKSEER

USAシークレットサービス　USA国内歳入庁　USA連邦捜査局

アミューズメント事業
株式会社ブレイク

プライズ事業

マンガ・アニメ等で人気のキャラクターライセンス許諾を獲得し、幅広いグッズの企画制作を展開。また、オリジナルアイデア商品も多数企画販売を実施。



イベント事業

各種イベント企画及び運営と、会場限定販売のグッズ企画制作販売も展開。

“キャッチーくん” “ココちゃん”

モビぶっく “モビ太”

横浜FC公式スポンサー

エンターテインメント
フォーサイドメディアア株式会社

音楽関連エンターテインメント事業

不動産事業
日本賃貸住宅保証機構株式会社

日本賃貸住宅保証機構
Japan Rental Apartment Guarantee Organization

賃貸家賃保証サービス

賃料集金代行サービス

保証料を支払うことで、従来の保証人様に代わりお客様の保証人となり、保証人様のいない方でもスムーズに入居可能なサービスを提供。

不動産事業
フォーサイトリアルエステート株式会社

投資用不動産の取得及び売買

―免責事項について―

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。
実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。
かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。
なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。

©2019 FORSIDE CO.,LTD.